

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

秋田県 北秋田市

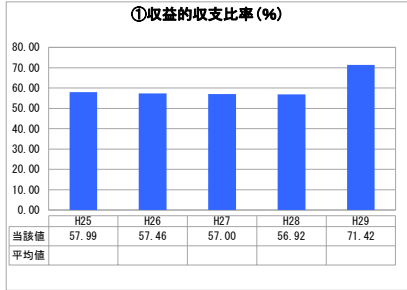
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	18.14	100.00	2,915

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,837	1,152.76	28.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,909	4.02	1,469.90

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



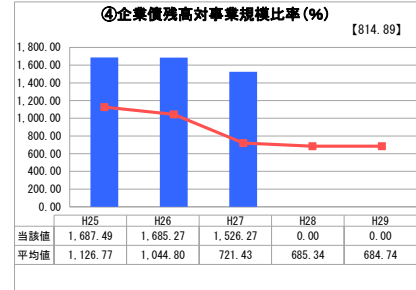
「単年度の収支」



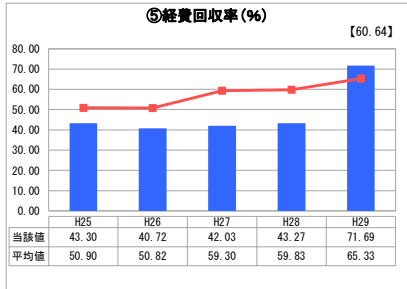
「累積欠損」



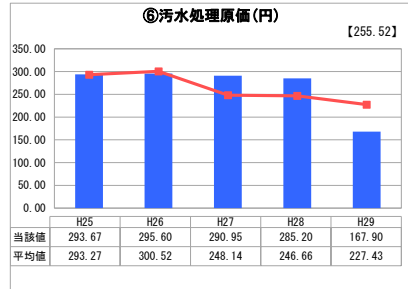
「支払能力」



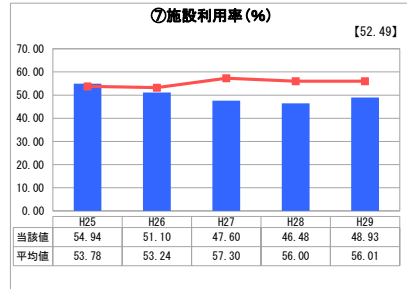
「債務残高」



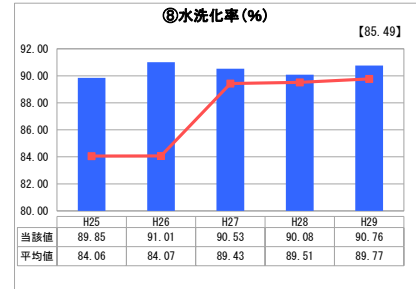
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

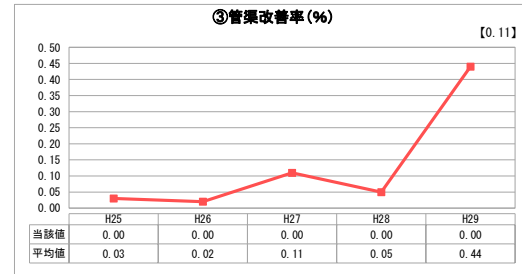
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、収益（主に料金収入、一般会計繰入金）に対して費用（主に維持管理費、支払利息、地方債償還金）の比率を表します。費用の内、地方債償還金が半分以上を占め100%未済であるため、料金収入が少なく一般会計繰入金に依存している事が表れています。

経費回収率は、料金収入に対する回収すべき経費の割合を表します。昨年度と比較し汚水資本費が減少したため、類似団体よりは高いものの100%未済であるため、料金収入が少なく一般会計繰入金に依存しているのが表れています。

汚水処理原価は、下水に流した1㎡の汚水処理に要した費用（維持管理費・資本費）を表します。昨年度と比較し汚水資本費が減少したため、類似団体よりも下がっています。

施設利用率は、処理場が1日に処理可能な能力に対する実際の処理量の比率を表します。類似団体と比較しても低く、今後も人口減少により下がることが予想されるため、施設統廃合を計画しています。

水洗化率は、処理区域内人口に対し水洗便所を設置（下水道に接続）している人口の割合を表します。整備事業が完了しているため、今後も大きな変動はないと見込まれます。

### 2. 老朽化の状況について

建設開始から30年経過しているため、北秋田市生活排水処理整備構想に基づき、効率的な汚水処理施設に向け、農業集落排水処理区及び公共下水道への統廃合を計画しています。

## 全体総括

各指数を類似団体と比較して乖離しているものもあり、今後改善に向けた取組が必要であります。農業集落排水整備事業は完了し、老朽化に伴う修繕費や維持管理費が増加する事から、農業集落排水処理区及び公共下水道への統廃合を計画しています。収益については、一般会計繰入金に依存しているため、料金収入の拡大を図るとともに、より一層の収率率向上を図ります。また、料金水準を見直し、料金単価の改定を行い適正な農業集落排水使用料とします。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。